

東京社保協ニュース

東京社会保険推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索

4.24ヒューマンチェーン

5000人余が国会を包囲

4月24日、審議入りした「医療・介護総合改悪法案」の廃案を求めて、全国から5千人を超える医療・介護・福祉関係者が国会議事堂を取り囲みました。東京からは、社保協加盟の東京土建、東京民医連を中心に約2千人が参加しました。

日比谷野音での集会では、ヒューマンチェーン行動の呼びかけ人の一人である川島みどり日赤看護大学客員教授から、「ヒューマンチェーンの力を、誰もが命と健康と暮らしが保障される力にしよう」と呼びかけ、認知

症の人と家族の会の勝田登志子さんからは、「会」として6万4千人以上の署名を厚生労働省に提出したと報告し、「輝け！いのち」のポスターを全員で掲げ、厚労省に向かってシュプレヒコールを行いました。その後、厚生労働省包囲行動と国会包囲行動を、呼びかけ人の本田宏済生会栗橋病院院長補佐の司会で行われ、「すべての人に安心の医療・介護を」「社会保障を改悪するな」と、医療・介護総合法案に反対する5千人余の声で国会を包みま



医療・介護総合法案を廃案に

国会前座り込み行動

4月9日から、国会前座り込み行動・国会議員要請行動が衆議院厚生労働委員会の開催日にあわせて、毎週水・金の10時から15時の日程で行われています。

座り込み行動では、参加者によるリレートークや国会に向けてのシュプレヒコール、医系国会議員や厚生労働委員への議員要請行動に取り組んでいます。また、委員会の審議が4月23日から開始されましたので、厚生労働委員会の傍聴行動も開始しました。

今、「医療・介護総合法案」の廃案をめざし、各地域や団体で学習や宣伝行動などの取り組みが広がっています。しかし、この「法案」の危険な内容は国民に知らされていないのが現状です。

学習・宣伝行動を強めつつ、国会議員に向けて、地域からの「いのち守れ！医療・介護総合法案は廃案に」の怒りの声を直接ぶつけていきましょう。

なお、審議が参議院に移った場合は、委員会の開催日にあわせ、火・木（午前10時～3時）の行動になります。



滞納処分・差押問題東日本交流集会

滞納処分・差押えの法的な根拠と 差押をはね返す運動を学習交流



講演する勝俣弁護士

3月29日(土)に、「滞納処分・差押え問題東日本学習交流集会」をけんせつプラザ東京で開催し、173人が参加しました。

講演は、田所良平弁護士から「滞納処分・差押えの基礎知識」、勝俣彰仁弁護士からは「違法な差押えの是正に向けて」の2本が報告されました。合わせて、自治労連横浜市従労組区役所支部の鈴木祥嗣さんから「自治体職場からの報告」、全商連事務局の小林俊光さんから「税金が払え



講演する田所弁護士

ず困っている人へパンフからの報告」神奈川県社保協事務局長の佐々木滋さんから「国保都道府県単位化に対する神奈川県からの問題提起」の3本の指定発言が行われました。

参加者の感想も、「基礎知識として大変わかりやすい講演でした」「画期的な判決を勝ち取ったことがよく判りました」など大変好評でした。

なお、弁護士の講演内容は、社会保障誌に掲載されますので参照して下さい。

美鴨地蔵通りの署名行動

4月14日、「4・24ヒューマンチェーン」実行委員会が、美鴨地蔵通り商店街で署名・宣伝行動を実施しました。

この行動には38人が参加し、医療・介護総合法案阻止に向けた宣伝と、4月24日に開催されるヒューマンチェーン行動への参加を訴えました。同時に、消費税増税に対する「シール投票」も実施しました。



「おばあちゃんの原宿」商店街を訪れる方々が次々と署名に応じてくれ、あわせて、消費税増税への怒り、医療・介護改善への声が寄せられました。約1時間の行動でしたが、署名付ティッシュ2千個を配布し、署名が240筆が集まりました。

生存権東京連絡会



生存権裁判を支える東京連絡会の第8回総会が、4月12日に開催され、129人が参加しました。

総会の記念講演として、全国連絡会の井上英夫会長(金沢大学名誉教授)が、「生存権裁判勝利で新たな福祉国家を創ろう」と題して講演。全国連絡会の前田事務局長と東京弁護団の淵上弁護士があいさつを行いました。

総会では、中野事務局長が第7回総会以降の取り組みの経過報告を行い、これを受けて、各地域から様々な取り組み報告がありました。

総会は、今後の取り組みとして全国裁判の勝利に向けた取り組みと、新たに提起された生存権キャラバン成功にむけた当面の取り組みを確認しました

渋谷社保協

渋谷社保協は、渋谷区議会に対して会派要請（3月4日、19日）、議会傍聴（25日、26日、31日）に取り組みました。

日赤労組と東京勤医会労組が提出した「夜勤労働の改善と大幅増員を国に求める」請願は、要請行動を通じて、医療現場での労働の大変さや慢性的な人手不足などは「改善されるべき」という認識で、全議員から請願に賛同を得ることができました。その結果、3月31日の本会議で、全会一致で請願が採択され、国への意見書が確認されました。これまで5回にわたり区議会に請願・要請に取り組んできた、粘り強い活動が成果に結びつきました。

一方、消費税増税中止、認可保育園の増設、特定秘密保護法廃止などの請願は、自民・公明などの反対で不採択となりました。



70人が参加して学習会を開催

4月9日に、社会保障制度の総改悪の内容と国会に上程されている医療・介護総合法案の学習会を、東京社保協寺川事務局長を招いて70人の参加で開催しました。

講演では、憲法25条を解釈改憲する社会保障総改悪にSTOPをと、社会保障改悪とのたたかひの課題と行動提起が行われました。（社保協ニュースより）



台東社保協

台東社保協は、社保協結成20周年にあたる3月28日に記念の総会



を5団体33人が参加して開催しました。総会に先立ち、東京社保協の福井副会長から「台東社保協の20年にわたる運動に敬意を表し、安倍暴走内閣に地域から反撃のうねりを上げるため仲間を増やし、区民に呼びかけ、風をおこすことから始めましょう」との講演が行われました。

総会では、台東社保協として区議会陳情活動を行ってきたが、不採択や継続の連続であったが、国保値上げ問題では、保険料の値上げは区民に大きな負担が及び、これを避けるためには、区として国や都に支援を行うよう意見書を提出するようにの陳情は「趣旨採択」という成果を得た、などこれまでの運動の総括、新しいたたかひの方針と役員体制を確認しました。（新島常嘉 事務局長）

西東京社保協

4月19日、西東京社保協は総会を開催し38人が参加しました。

総会の冒頭、東京社保協の福井典子副会長から講演があり、今日の私たちを取り巻く情勢の分析、自分たちの住んでいる所は自分たちで責任をもつこと。今は、地域

社保協の出番であり、権利としての社会保障制度の確立をめざして、住民世論の構築をし、みんなで輝くために、自ら風を起こそうと提起されました。「たたかわずして権利の保障はない。私たちは決して負けない。なぜなら勝つまでたたかいをやめないから」の言葉に勇気を与えられました。討論では、活動方針に即して各分野から報告があり、新年度方針と役員体制を確認しました。（岡本卓郎 事務局長）

<三宅村社会福祉協議会事務局長> “急募”

三宅村元村議の寺本恒夫氏（三宅村社協会長）から緊急の要請がありました。

<条件>

社会福祉運動の中心になって活動できる方、男女問わず。家族ぐるみで暮らせる宿舎有。今年7月から勤務できる方で、65歳なるまで少なくとも3年間の勤務。給与と保障＝介護福祉士、社会福祉士なら月約35万円、他に年間30万円貸与。資格なしの場合は役場職員待遇で。3年間なら100万円贈与（普通免許必要）

<連絡先> 東京社保協まで 03-5395-3165

第42回 東京社保学校 第一報

日時

2014年7月19日(土)
午前10時開会～午後4時半(9時半開場)

会場

けんせつプラザ東京
(東京土建本部会館 JR大久保駅下車徒歩3分)

講演

第1講義 憲法問題

小澤 隆一氏 東京慈恵会医科大教授



第2講義 社会保障問題

後藤 道夫氏 都留文科大学名誉教授



第3講義 国家戦略特区問題

永山 利和氏 元日本大学教授



* 資料代500円

第42回東京社保学校 参加申込書 2014年 月 日

締め切りは7月16日です。この申込書をFAXして下さい

団体名() 担当者()

参加者氏名	参加者氏名

※必要事項を記入してFAXで申し込んでください。
お問合せは、東京社保協事務局まで(Tel03-5395-3165)

FAX 03-3946-6823